

参加者 (敬称略)

北島薫 (熱帯林環境)、谷誠 (森林水文)、徳地直子 (森林育成)、小杉緑子 (水文)、檀浦正子 (森林利用)、小野田雄介 (森林生態)、池川 (森林生物)、岡田 (森林生態)、光川 (微生物環境)

連絡あり欠席者 (敬称略)

大澤晃 (森林利用)、北山兼弘 (森林生態)、柴田昌三 (環境デザイン)、縄田栄治 (熱帯作物)、高柳敦 (森林生物)

FEFCOの趣旨

まず北島先生より趣旨の説明。(詳細は趣意書を参照)

主要なメリット

- 京大内の研究室間の交流を活発化させることにより、情報交換を促進し、共同研究や連携強化に繋げることができる。
- 招聘研究者等の講演を広く周知することができる。

実行面で配慮すること

- 自由な雰囲気
- 定期的に続けること
- クッキーやお茶など用意し、発表の前後で談笑する機会を設ける (お茶のポットは森林水文分野のものをお借りできる)。
- 賛同教員等からカンパをお願いし、お菓子代を賄う。(いずれはそういう予算を獲得したい。)

時間

- 各研究室のゼミや定期行事等を勘案し、基本は第3木曜日の16:00-17:30とすることにした。原則、夏休み中も継続する。
- 招待講演は定例会とは別に随時行っていく。

担当

研究室が持ち回りで定例会を担当する。

2/20 森林水文 (→招待講演との関係で7月に移動 1/31)

3/20 学会等のため開催せず

4/17 熱帯林環境 (or森林生態)

5/15 森林生態 (or熱帯林環境)

6/19 森林育成

7/17 賛同いただける研究室と相談 (→招待講演との関係で森林水文に 1/31)

(候補: 森林利用、森林生物、微生物環境、土壌学、他学部: 地球環境学、生存圏研究所、生態研センタ)

内容

趣旨に沿う形で担当研究室の裁量に任せる。考えられるパターンとしては以下の通り。

- 研究室の研究紹介
- ポスドクや学生等の面白い研究の紹介
- 担当研究室が講演を聞きたい研究者を招聘する (学内外)

ただし、まずは研究室ごとの研究を知りたいので、各研究室の研究紹介をしていただくのが良い。

場所

広い部屋にちらほらと人が集まるよりも、多少狭くても部屋に人が混みいていた方がいいということから、地域環境科学専攻の大会議室 (S174) を第一候補とする。この部屋で人数が収納できない場合は、講義室を使うことを検討する。

情報集約

定例会、招待講演に関する情報は、北島先生に情報を集約させる。

情報共有・案内

- ホームページ作成 担当：小杉先生。森林水文のサーバに置かさせていただく。賛同いただける研究室名をリストアップして各研究室にリンクを貼る案もあったが、メンバーが固定してしまう恐れもあるので、ホスト研究室名にリンクを貼る程度にとどめたほうが良いという意見あり。
- メーリングリスト（森林セミナーメーリングリスト、jeconet等の外部メーリングリスト）での情報流布 担当：北島先生。
- ポスター（フライヤー）の作成 ホスト研究室が行う。ただし、ポスターのフォーマットは檀浦先生が作成してくださるので、それを利用する。作成したフライヤーは北島先生と小杉先生に送る（→ネットにアップロード）。
- 招待講演は日時が不確定でも、前もって（例えば数ヶ月前）、予告情報をネット等に開示していくことが望ましい。それにより、遠隔地からの参加も可能にさせる。

将来計画

- まずは順調にサイクルを回すことが重要。
- 2-3年後にコロキウムとして、外部や内部資金の申請・獲得を目指したい。
- 農学部のホームページのルートからリンクを貼りたい。

役割分担（敬称略）

- 情報集約・メーリングリスト案内 北島薫
- ホームページ係 小杉緑子
- 集金・会計・お菓子係 小野田雄介
- ポスターフォーマット作成 檀浦正子

議事録作成：小野田雄介（2013.1.30）